

14 番（小川義昭議員）

議席番号 14 番、市政会の小川義昭であります。

通告に従いまして、代表質問をいたします。

今会議における市政会の代表質問は、大別しますと、1 点目は金沢総合車両所松任本所の跡地利活用策、2 点目は今年も最も暑い夏予測に際して、3 点目は本庁舎 1 階窓口における暴行事件、以上 3 点について執行部の見解をお伺いいたします。

まずは、金沢総合車両所松任本所の跡地利活用についての質問であります。

白山市の前身であります旧松任町の企業誘致第 1 号として、私たちの先達が熱い思いを込めて苦慮の末に誘致した金沢総合車両所松任本所（以降松任工場）は、88 年間の長きにわたり、北陸地域の鉄道の車両整備を担い、その守護神として活躍してきた名門鉄道車両工場でありました。その松任工場が先般の北陸新幹線敦賀延伸開業に伴う並行在来線の移管により、本年 3 月 15 日をもって閉所されました。

松任工場の跡地は、本市のシンボリック的存在として極めて大事な区域であり、跡地利用は、今後の白山市のまちづくり、ひいては白山市の将来像にも大きく関わってくる大変重要な懸案事項であります。

したがって、いち早くこの跡地の有効な利活用の方向性を見極め、再整備へと導き、本市のさらなる発展の原動力の底力となるようつなげていく必要があります。

そこで、大きく 3 点の質問をいたします。

まず 1 点目の質問は、昨年 6 月の一般質問から 1 年が経過いたしましたので、その間の対応についてお伺いします。

昨年 6 月会議において、松任工場の閉鎖に至る J R 西日本（以降 J R）側との交渉経緯及び松任工場跡地の具体的な利活用策について、田村市長は、J R は閉鎖後の施設の処理については未定である。この土地の権利は J R が有しており、市としては、J R に対して閉鎖後の方向性について早期に検討するよう要望し、J R と連絡を密に取りながら情報収集に努め、関係国会議員とも相談し、そして、議会にも報告し、意見も聞きながら対応してまいりたいとの答弁をされてから、1 年が経過いたしました。

そこで、関連して 4 項目についてお伺いします。

1 番目、J R に対して閉鎖後の方向性について早期に検討するよう要望されたのか。要望されたのなら、どのような返答だったのか。

2 番目、議会への報告、意見聴取はありませんでしたけれども、関係国会議員とはどのような相談をされたのか。

3 番目、土地の地権者であります J R は、現時点でこの跡地をどのように利用しようと考えているのか。

4 番目、市長としてこの 1 年間、跡地利活用策をどのように考えてこられたのか。

以上、4 項目についてお伺いいたします。